

学校経営 目標等	具体的計画	達成基準	自己評価					
			中間		最終		総合評価	分析・改善方策
			達成状況	評価	達成状況	評価		
1 確かな学力の向上	(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>9割以上の教員が主体的・対話的で深い学びを意識した授業を工夫する。</li> <li>個別の学習相談や補充学習を年間13日以上行う。</li> <li>7割以上の生徒が家庭学習をよくしていると答える。</li> <li>コミュニケーション能力育成を意識して指導する。</li> <li>9割以上の教員がICT器を活用する。</li> </ul>						
	(2)落ち着いた学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの生徒が学習規律を守り、落ち着いて授業に取り組む。</li> </ul>						
2 豊かな心の育成	(1)体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、生徒会活動、ボランティア活動、職場体験などに対して、8割以上の生徒が達成感を持つ。</li> </ul>						
	(2)道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教員が決められた道徳の時間数を行い、教科書や資料などの教材を有効に活用する。</li> <li>全教員が適切な評価を行うなど、道徳のよりよい授業づくりに努める。</li> <li>教育諸活動において、道徳的心情が育つような指導を意識している。</li> <li>8割以上の生徒が「自分にはよいところがある」と思う。</li> </ul>						
	(3)信頼関係にもとづく積極的な生徒指導の推進と望ましい集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を定着させる。</li> <li>清掃活動や美化活動を充実させる。</li> <li>生活ノートの効果的な活用や教育相談の充実を図る。</li> <li>日常的に声かけを行い、生徒の心の声にも耳を傾ける。</li> <li>よい人間関係が築かれ、望ましい集団になっている。</li> </ul>						
3 特別支援教育の充実	(1)特別支援教育の理解と意識高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>9割以上の教員が特別支援教育の視点をもって、授業改革に取り組む。</li> </ul>						
	(2)特別な教育的ニーズに対応する支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>9割以上の教員が教育活動全般にわたり、特別な教育的ニーズのある生徒に適切な支援を行う。</li> </ul>						
4 地域とともにある学校づくり (コミュニティスクールを目指して)	(1)積極的な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な情報発信によって、8割以上の保護者が、学校の様子をよく知ることができると思う。</li> </ul>						
	(2)家庭・地域との連携促進と学校運営協議会の基礎づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティスクールについて、地域や保護者と連携し、学校運営協議会への関心が高まり、その基盤づくりができていく。</li> </ul>						
	(3)校種間の連携推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教科で、小学校の出前授業及び情報交換や研修会参加などの機会を持つ。</li> <li>校種間で子ども同士の交流の機会を年間20回以上持つ。</li> </ul>						

